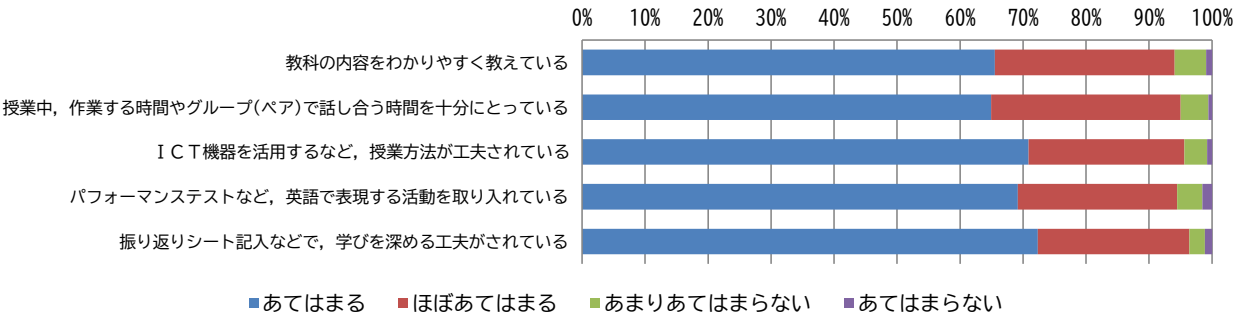


令和7年度 2学期 生徒授業評価アンケート

教科名	英語	重点目標	ペアワークやグループ活動などを通して生徒が主体的に取り組む授業を行う。単元ごとにパフォーマンステストを実施し、学習内容を英語でアウトプットできるようにする。また、振り返りシート記入で文法事項の定着を図るとともに、主体的に学習に向かう姿勢を培う。
-----	----	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学習指導に関する現状と課題（2学期・生徒による授業評価アンケートより）

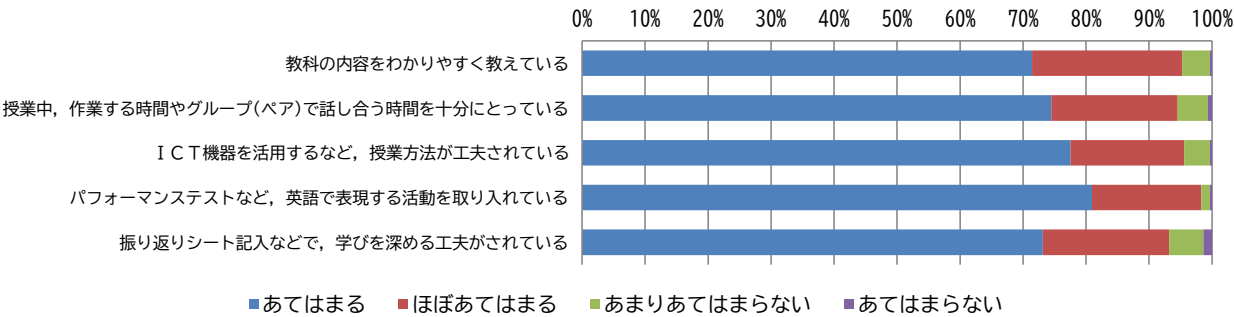
1年 英語



分析

全ての項目において、肯定的な意見が90%を超えている。1学期に他の項目に比べて肯定的な意見が少なかったICT活用とパフォーマンステストの評価は、1学期の改善案をもとに活動を行うことができた。3学期以降も継続して行いたい。一方で、「あてはまる」の回答が70%を下回っている項目が多い。迷うことなく「あてはまる」と回答できるような授業を関わっている教員全員ができるようになる必要がある。そのためにもすべての教員が同じ水準で授業を行うことができるよう、授業改善に努めていきたい。

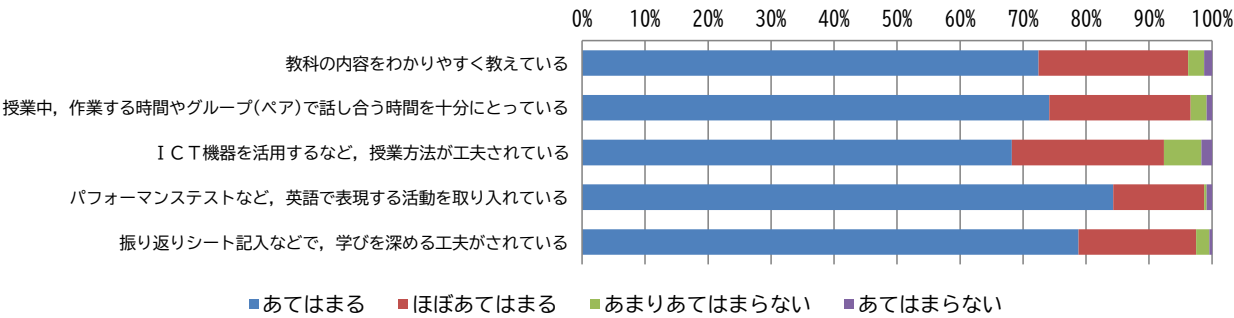
2年 英語



分析

「教科の内容をわかりやすく（楽しく）教えている」という項目に関して、前回の結果では「あてはまる」が70%を超えなかったものが今回は70%を超えた。これは、授業内容が分かりやすいということよりも、生徒が英語を理解し始めたことによる結果だと思われる。3学期の授業評価アンケートでは、「教科の内容をわかりやすく（楽しく）教えている」という結果がさらに上がるような授業をしていきたい。全体で見たときに、まだすべての項目で「あまりあてはまらない」と回答している生徒がいるため、授業においては改善の余地があるのかもしれない。

3年 英語



分析

前回と比べて、全ての項目において肯定的な意見が90%を超えた。前回アンケートの結果を受けて、課題として『「教科の内容をわかりやすく教えている」の項目について、「あてはまる」の生徒の割合を増やすこと』としたが、前回の55%から72%に上昇したことは、大きな成果と言える。「ほぼあてはまる」の生徒の割合を足すと、96%の生徒が肯定的に捉えている。受験に向けて主体的に取り組む生徒が増えたことも要因の一つだと考えられるが、今後も教科の内容をわかりやすく教えることを大切に継続していきたい。ペアやグループで話し合う時間、パフォーマンステスト、振り返りシートなどの活動も引き続き行い、生徒が主体的に英語の学習に向かうことができる時間を効果的に取り入れていきたい。